

こんにちはは議会です

# ガン だ

No.84

KANDA TOWN  
JULY 25 2005



あなたと議会をむすぶ GIKAI.MAGAZINE

## 7月定例会

より快適な環境をめざして

P2~P3

委員会報告 ..... P3~P4

一般質問12人登壇 ..... P5~P17

カメラ見て歩き ..... P19



今年からクールビズ実施

6月3日から6月20日まで会期18日間開催

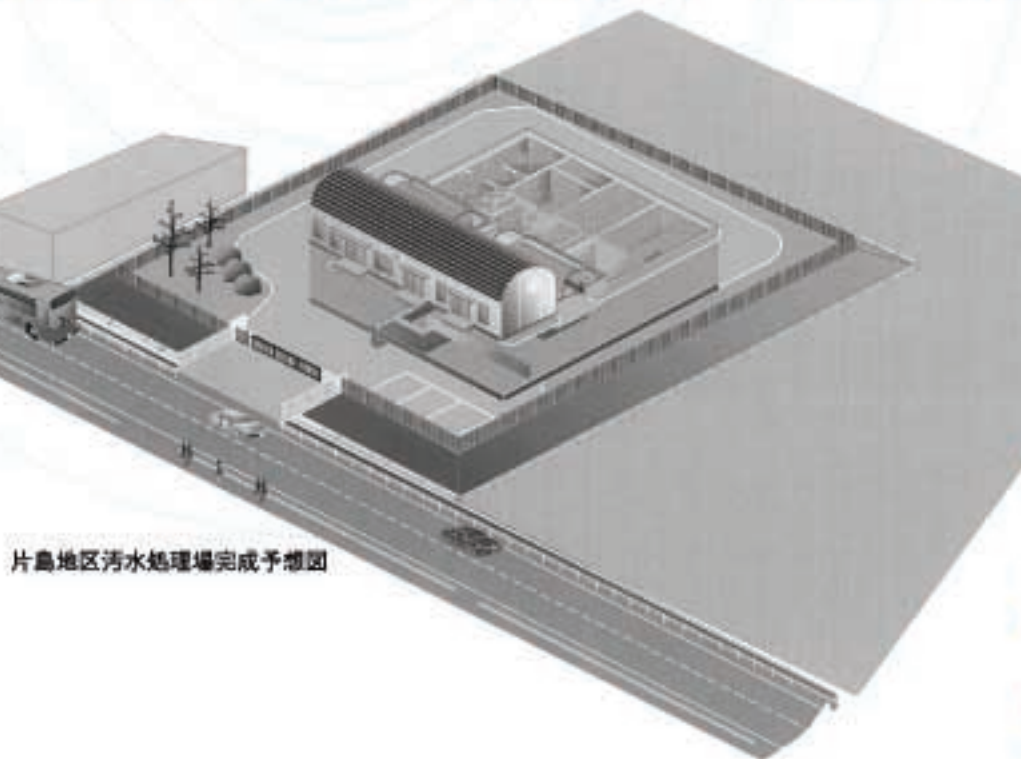
# より快適な環境をめざして

## 農業集落排水事業 (片島地区 汚水処理場 建設工事)

### 〔片島地区汚水処理場建設工事〕

平成18年3月31日の完成を目指して工事が着工された。

- 計画処理人口: **1,250人**
- 総汚水量: **4,133㎥/日**



片島地区汚水処理場完成予想図

## 1億8,690万円

### 〔ごみ焼却施設解体工事〕

昭和51年度に建設され、平成10年9月30日一般廃棄物固形燃料化施設「刈田エコプラント機」の稼働に伴いその役目を終ったごみ焼却施設を解体し、整地を行なうもの。

解体工事においては、ダイオキシン類が他に拡散しないような方策を講じるほか、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱」その他関係法令を遵守して施工する。

特に解体工事に伴う調査、分析は、解体作業前、解体中及び解体工事後、大気及び土壌等、周辺環境の調査を行う。

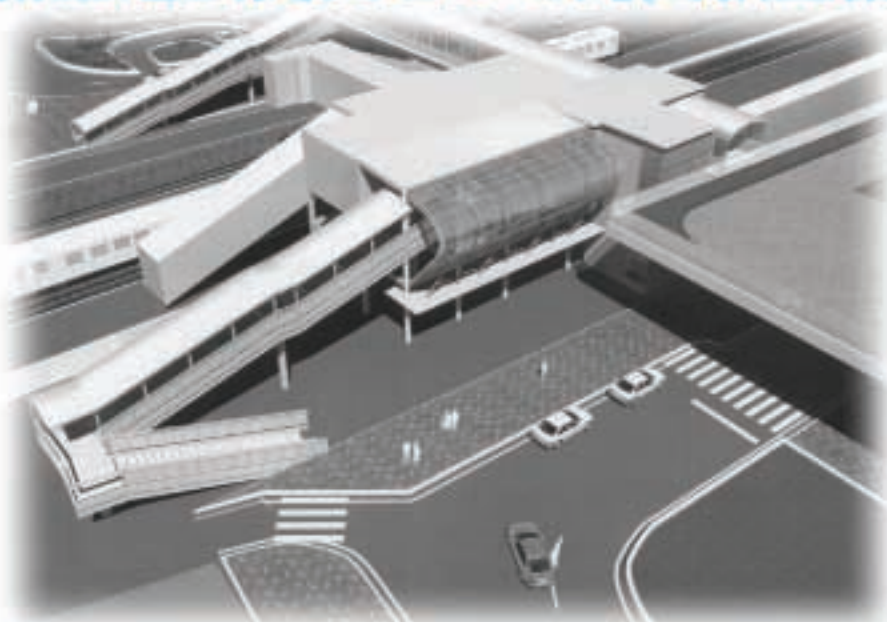
解体後の土地利用について



役割を終えた旧焼却場

では、今後細部について検討をしていく予定である。

### 〔新空港玄関口として刈田駅整備〕



刈田駅の完成予想図

### 委員会報告

総務常任委員会委員長  
三原 茂

● 付託案件  
補正予算 2件  
条例改正 4件  
その他 2件

慎重審議の結果、全議案を可決した。



平成17年度一般会計補正予算(第1号)

- 庁舎非常灯設備をバッテリー方式でなく発電方式を採用したがどう違うのか。
- △ 発電方式は、1,170万円、耐用年数を考慮すると効果的である。

平成17年度京都府公平委員会特別会計補正予算(第1号)

- 歳入歳出にそれぞれ5万円を減額し、歳入歳出予算の総額を482千円にするものがある。
- 公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正
- 第3セクターである刈田エコプラント機を特定法人として職員を派遣を可能にするための改正。
- 新田町手数料条例の一部改正

危険物の規制に関する規則等の改正に伴い、浮き屋様式特定屋外タンク貯蔵所に関する審査手数料を改正するもの。

新田町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

非常勤消防団員の退職報償金支給額を改正するもの。

新田町火災予防条例の一部改正

消防法等の一部改正により、指定数量未満の危険物、指定可燃物等の取扱い基準が定められたこと及び再生資源燃料が指定可燃物に追加されたことによる改正。

福岡県自治振興組合を組織する市町村数の増減について

福岡県市町村災害共済基金組合を組織する市町村数の増減について

県内の市町村合併により、組合を組織する市町村数の増減の協議について議決を行なうもの。

○ 合併後の県内の市町村数は、

△ 現行97市町村で来年3月には69市町村となる。

# 委員会報告

厚生文教常任委員会委員長  
川上公美子

●付託案件  
補正予算 2件  
条例改正 2件  
工事請負契約 1件  
慎重審議の結果、全議案を可決した。



城南団地建替えに係る用地の遺跡発掘調査のための補正予算。  
●工事請負契約の締結（こみ焼却場施設の解体工事）  
●工事残渣の最終処分について、県内と県外処分、予算が変わることはないか。考慮している。

また事故の無いよう施工し、最終処分についても安全を期して欲しいとの要望があった。

## 委員会報告

産業建設常任委員会委員長  
武内幸次郎



●付託案件  
補正予算 4件  
工事請負契約 2件  
慎重審議の結果、全議案を可決した。

平成17年度菊田町一般会計補正予算(第1号)  
●小波瀬コミュニティセンターの清掃及び特殊設備管理委託について入札の経過は、平成16年度と同額で契約

●付託案件  
補正予算 4件  
工事請負契約 2件  
慎重審議の結果、全議案を可決した。

発事業特別会計への繰入金である。  
●平成17年度菊田町菊田町空産業団地開発事業特別会計補正予算(第1号)  
●用地売却により財産収入が増加したことにより、一般会計からの繰入金及び町債の減額等。  
●歳出では企業立地推進委員委託料及び町債のうち利率の高いものの繰上げ償還を行なうため公債費を計上。  
●および地方債の補正を行なうものである。  
●平成17年度菊田町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)  
●歳入歳出に627千円を追加する。  
●平成17年度水道事業会計補正予算(第1号)  
●地方債の中で利率6・0以上のものの償還に充てるため、借換債の申請をするためのもの。  
●利率6%以上の起債は何件残るのか。  
●大蔵省など2ヶ所からの借入れ5件で借換が認められれば順次借換を行なう。  
●工事請負契約の締結(尾倉地区幹線管渠築造工事)  
●公共工事の適正化について議論してきたが、指摘事項

が反映されていないのではなか、指名の基準はどのようになされたのか。  
●指名においては、工事の種類、工事額、或いはその他の要件として県の経営審査、規模、過去の経験などを参考にしている。  
●この工事は河川の下を通るが深さはどの程度か、また与原地区との高低差がかなりあるがどのようになるのか。  
●管の埋設は深いところで4・9m、また与原地区を含め5ヶ所にマンホールポンプを計画している。  
●工事請負契約の締結(片島地区汚水処理場建設工事(2期工事))  
●供用開始時期は当初18年度よりとのことであったが、開始時期が遅れ秋ぐらいになるとのことであるが間違いないか。  
●特殊なケースがない限り、10月にはできる。



# スバ

# 町政を問う

6月定例会の一般質問は、13日・14日・15日に12人が登壇しました。

## 作本文男議員

1. たばこ税の一部を豊津町の陸上競技場改修の為に支払ったことについて
2. 町民本位の町政
3. 菊田町の緑化推進について

## 小山信美議員

1. 環境問題について
2. 健康教育問題について

## 坂本東二郎議員

1. 下水道整備計画と今後の見直しについて
2. 人口増加策と国際化の進展について
3. 合併問題と菊田町の方向性について

## 富安正直議員

1. 菊田町の「町づくり」について
2. 次世代育成支援対策行動計画について

## 武内幸次郎議員

1. 菊田町土地開発公社のあり方について
2. 地域活性化に向けて

## 川上公美子議員

1. 教育基本法に基づく子どもの安全とゆきといた教育の実現を
2. 災害に強い町づくり
3. 菊田駅周辺事業について
4. 福祉問題の充実
5. 男女共同参画社会の取り組み

## 井上修議員

1. 断水の無い町づくりについて
2. JR小波瀬西工大前の橋上駅化和周辺都市整備事業の見直しについて
3. 教育を中心とした地域おこしについて

## 三原茂議員

1. これからのまちづくりについて
2. シルバー人材センターについて
3. 指名のあり方について

## 松蔭日出美議員

1. 福祉  
(1) 福祉の道

## 林繁実議員

1. 「地産地消」から派生する問題解決への道  
(1) 町民のための健全な地方行政を推進するために

## 梶原弘子議員

1. 白川、片島地区を住みやすく
2. 平和問題のとりくみについて
3. 教育問題について
4. 人権問題の名の元で

## 常廣直行議員

1. 大型事業について
2. 教育改革について
3. 町づくりについて

# Q 不当要求行為が正常な議員活動か A 本人は、そういう意味で言っていないと発言している



作本文男議員

**Q** 不当要求行為の内容を確認するとH15年に当該議員から4〜5回にわたって町有地を安く売るように再三申し入れがあったり、事務所呼びつけたり、町長も同席して担当者に要求したり、最後は「おれの言うことが聞けないのなら課長とおまえを首にする」と暴言を吐いたりしている。町有地1坪9万8000円の土地を2万6000円で売る様に強要した事件である。その差3・7分の1である。しかしこの議員は正常な議員活動の一端と議会で発言している。調査委員会の経過と結果を知りたい。

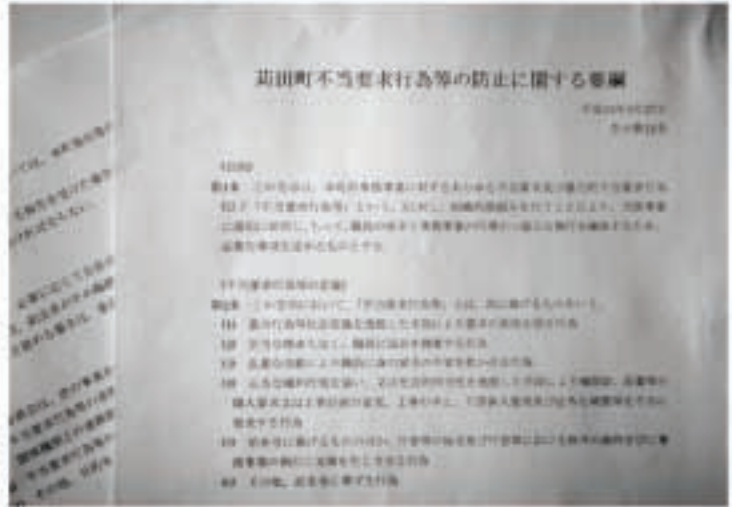
**A** 5回の不当要求行為等防止対策委員会を開催した。被害職員の事実確認をし、行橋警察署幹部に「報告」する旨を相談した結果、被害職員本人の意志、役場の全面協力が必要と言う事で、再度職員に確認した所「こういうことが改められれば良い」という事で口頭で警察に報告しこの件のけじめをつけた。

**Q** 本人から要請があれば警察は正式に捜査するという事であり、この議員が言い訳している様な「正常な議員活動」ではない事は、はっきりしている。

**A** 物事がおさまって町田の行政がうまくいくならばという事になった。

**Q** 正常な議員活動と公言しているが、まったく反省がないしゆるせない。刑事訴訟法239条2項に「公事は職務を行うことにより犯罪があると思料するときは告発しなければならない」とあるが何故しないのか。

**A** 今後の推移を見、公訴時



効も2年有余あるので考えてみたい。

**Q** この事件を起した議員は監査委員をしている。監査委員は人格が高潔...となつているが、3・7分の1倍で町有地を売却しないと、職員をやめさせると言った議員が果して監査委員に選んでいると思つているのか。

**A** 議会とも相談した上で選任しているので適していると思つている。

**Q** この議員は過去から人事についても平然と介入している。公表される前に公言した通りの昇格になった事例が何度もある。これは人事権をもつ、町長がバカにされている事と同じと思うが。

**A** 色んな不当要求があるが、私は決して人の言うとおりにはない。自分で判断してやってきたつもりだ。

**Q** 現実には議員や町の有力者と云われる人が公言した通りになっていく。こんな事がまかり通れば失敗の始まりだ。私の予言は結構当たる。

# Q 環境基本計画の取り組みと進捗状況

## A 一生懸命取り組み、きちんとやる



小山信美議員

**Q** 平成16年度から25年度までの取り組みと現在の進捗状況は。

**A** 各課ですぐできる事、長期的な事を6月末までに報告する。

**Q** 13年度からの取り組みは。

**A** CO2の削減は6%目標で5・5%。コピー用紙は10%目標で47%。要因はパソコンの導入でそのプリントアウトによるもの。公用車等の燃料の削減は10%に対し8・8%。搬出ごみも10%に対し11・3%減になっている。

**Q** 6月は環境月間だがキャンペーン等の計画は。

**A** 特に考えていない。環境未来館の周知徹底と環境副読本の活用を企業約18社に依頼しそれぞれの組織を通じて取り組んでもらう。

**Q** 環境家計簿の利用について。

**A** 利用されていない。

**Q** 公共施設への自然エネルギー利用施設の導入の検討は。

**A** 役場の屋上緑化。また風力発電か太陽光発電の導入を試みようと思う。又、浄化センターに太陽光発電を導入したい。学校施設については今後検討する。

**Q** 屋上緑化の進捗率は。

**A** 大体半分ぐらいである。



庁舎屋上緑化

**Q** 入学前の食物アレルギーのアンケート調査の実施は。又、代替食の提供については。

**A** 実施していない。ぜひ検討していく。代替食は医師や保護者教育センターと協議し検討する。

**Q** マニュアルはつくられたのか。

**A** まだつくられていない。対応について指針等を考えてみたい。

**Q** 毎日ついている牛乳はアレルギーの一つだが、全部飲まれているのか。

## アレルギーと米粉パンの導入は

**Q** 残さいの問題になるが小学校で14%。中学校で19%である。

**A** 食物アレルギー症状が重いと呼吸困難や血圧低下(アナフィラキシー)の症状が出る。患者が増加する傾向にあるが学校側の対応は。

**A** 該当する子供がいるか詳しく調べていない。調査研究したい。

**Q** 米の消費拡大策として、米粉パンの導入は考えられないのか。

**A** 福岡県米粉普及推進協議

会で試作したが劣化が早く味の低下や価格が高い為導入していない。現在クラッカー、クッキー、固パンの試作開発を行っている。

**Q** 兵庫県の篠山市では全国初の本格導入を週2回実施。いかに地元の米を食べてもらうか意欲的だが、町長の考えは。

**A** 子ども達の健康、食事、大変重要な問題だ。町田町独自で勉強しながら町づくりという観点から、教育委員会とも十分協議しながら進めていく。

## Q 京都味トンネルの 一日も早い供用開始を

## A 全面供用に向け 県等に働きかける



坂本東二郎議員

Q 苅田町合併50周年の記念すべき年に当たり、白川地区の悲願であった京都味トンネルの貫通式が行われ、町長始め福岡県土木事務所に対し心からお礼を申し上げると併に一日も早い供用開始に向けさらなる努力をお願いしたい。

A 私のところにも感謝の手紙を頂き白川地区の人達の願望がひしひしと伝わるし行政の責任も強く感じる。全面供用開始に向け県等に強く働きかける。

Q 企業収益の改善により、法人住民税を始め町税の増加が見込まれ大変喜ばしいことである。この貴重な税収を業務執行する時、民間企業経営者の大変な努力を常に肝に銘じながら執行してもらいたい。

A せっかく企業の皆さんが努力して税金を納めている。町としてもむだ遣いすることなく行財政改革をしながら有効に活用していきたい。

Q 下水道整備計画の見直しについて、どこをどう見直しするのか。

A 公共下水道、農業集落排水事業、合併浄化槽、これらを町全体で見直しして、いかに効率よくしかも早く全町で下水道が完備されるよう調査する。

Q 現在の進捗率からいって全町が下水道の恩恵に浴する年度は。

A 公共下水道については平成46年、農排事業、合併浄化槽についてはできるだけ急いでみたいし、見直し計画の中で再度考えたい。

Q 全町が下水道の恩恵に浴すには、あと30年かかる。そこで合併浄化槽を取り入れた早期整備を訴え、下水道整備の中心に据えていく考え方は。

A 国からの環境整備補助金が厳しくなり、合併浄化槽と普通の公共下水道を合わせた地域再生計画を内閣府に対し申請しているので近いうちに説明できる。

Q 苅田町内で開発行為や新たに家屋を新築する場合には、合併浄化槽を設置した時には迷惑料や負担金の要求が残念ながら一部にあるが、町として合併浄化槽設置の意味とメリットを地域の住民に理解してもらおう様努力すべきだ。

A 苅田町の下水道整備の中



貫通した京都味

で合併浄化槽の活用が主力になってくるし、又性能がよくなってきたし、設置方法について単体でも、集団でも出来るし柔軟に対応しやすい。反対の声、いろいろ聞いているが、その辺はメリットをよく町民の皆様に説明し、とにかく急いで町全体に下水道整備をやりたい。



富安正直議員

## まちづくりと町民参画

Q 町長が考える、まちづくり条例とはいかなるものか。

A 現在、日本における行政のあり方は大きく変わりつつある。町民が官に頼る、行政が国や県に頼るといったことではなく、地方に出来ることは地方で、と言う大原則のなか、地方分権時代における「まちづくりシステム」の基本がまちづくり条例だと考える。

Q なぜ町民参画なのか。苅田町がただ住むところではなく、将来にわたって快適に豊かに健康的に夢を持って住める町にするために自分、ひいては子孫のため地域に奉仕するとする理念を町民と行政が共有する必要がある。

Q 行政、住民の皆さんとともに地方分権時代のまちづくりシステムの成熟度が足りない。町職員の意識改革を行ったうえで区長連合会、企業の方々とも根気よく進めて行きたい。

Q 少子化問題、環境問題、地方分権への対応など、学校が研究し、企業が実践し、行政が取り組むものを総合してテーマを決めた産学官の連携をするべきだ。

A 最近になって、男女共同参画、環境、教育などで、企業の方から具体的な話もあり、西日本工業大学からも苅田町の産業界と共同研究したいという動きが出ています。こういうことを大切にしながら進めたい。

## 目標を持った 産学官連携を

## 井場川埋立地の 有効利用

Q 先日豊前道の駅「おこしかけ」の視察をしてきたが、地元で生鮮食料品が大好評で、地場の商店や農協、漁協の振興に役立つっており、第3セクターでありながら、出資利益を生んで納税と言っている。苅田の場合、豊前の倍の交通量が見込まれるが、どう活用していくのか。

A 正式には苅田町総合情報交流拠点施設といい、道の駅に対抗して海の駅として町民や近隣の方々が楽しめる施設にしたい。

Q 事業の運営主体として、第3セクターが考えられるが、将来にわたって町に負担をかけずに納税と言っている。苅田町にどうすべきか。

A 現在、ピエアタウン苅田



開発が進む井場川河口

がいろんな活動を積極的にやっている。決定ではないが、この団体に任せてもいいと考えている。ただ、赤字にはならないように十分注意していきたい。

## 次世代育成を 実行せよ

Q 次世代育成支援対策行動計画では、多岐にわたる問題に対し、数値目標も含めて盛り込まれており、すばらしいものが出来るが、実行段階での評価、点検の仕組みが甘いのではないか。

A 計画の中にはすでに実行されているものもあるが、推進体制の遅れは今後早急に体制作りをして、関係委員会に報告したい。

## Q 次世代育成支援対策行動計画の 実現に向けた点検、評価体制の充実を A 早急に立ち上げる



武内幸次郎議員

### Q 高く買って安く売った 5000万円の損失補填は

### A 土地の値下がりにより 大切な税金を損失し残念だ

**Q** 土地開発公社は、公有地の拡大の推進に関する法律に基づき地方公共団体が地域の秩序ある整備を図るために必要な土地の取得及び造成等を行うための特殊法人である。地価の高騰は町にとって公共用地の取得が困難となり財政的にも対応できないという状況から制度他がなされてきたが現況では創設の趣旨に沿った事業がなされていない。廃止を含め検討されているがどのような考えか。

**A** 時代も変り、土地開発公社はその役割もほぼ終わったのではないのか。現在廃止の方向で検討している。

**Q** 駅前広場整備事業として平成11年に取得、平成16年に県に売却した土地がわずか5年間に4960万8730円の損失補填を行うことになった。町民の税金であり単にパブル後の土地の下落だと片づけてよいのか。土地取得から売却まで落ち

度はなかったのか。

**A** 丁刈田駅東口広場の整備のため県に売却した。土地の購入また購入価格の決定等についての判断は間違っていない。5年経過する中で土地の値下りにより約5000万円もの大切な税金を損失し



町田駅東側広場予定地

たことは残念だ。

**Q** 土地の買取り価格は地価公示法による公示価格を基準として算定された価格となっている。用地購入時の路線価は10万5000円/㎡、70%割り戻した鑑定価格は15万/㎡であり、購入価格17万円/㎡

㎡との差額が2万円あるがどのような判断がされたのか。

**A** 当時の交渉経過は判らないが不動産鑑定評価を頼って買取価格の決定をしたとメモがある。公示価格を基に検討したかは定かではない。

**Q** 公示価格を基準にしてと条項に定められているがそれでは不備である。不動産鑑定士の鑑定評価がすべてではない。取得面積718.59㎡を差額の2万円で積算すると1437万1800円高く買ったことになる。当時、町田町の商業地の中で最も高い場所の公示価格は17万2000円/㎡である。県に売却した平成16年の路線価は8万8900円/㎡割り戻し金額は12万7000円/㎡である。ところが県に売却した価格は10万7886円であり、1万914円の差額となるがこの差はどういう判断なのか。

**A** 商業地の変動率の調査を基に県と協議を行い決定した。

**Q** 不動産鑑定士の意見を重視したとのことであるが論外だ。参考にすべきだがすべてではない。自分のお金での土地の売買ではないので認識がたりない。もっと厳しく行っていくべきであると指摘しておく。

### Q 教育基本法に基づく子どもの安全と

### ゆきとどいた教育の実現を A 少しでも早く実現をしたい

**Q** 臨海工業線の一部開通で道幅が広くなり、交通量もふえて、松山・松原の子ども達は登下校時危険にさらされている。横断歩道の設置を求め、松山・松原地区が署名にとりこんでいるが町の対応は。

**A** 基本的に横断歩道橋は撤去の方向であるが地元住民の強い声があるので町としてもその方向に努力してみたい。

**Q** 交通指導員の定数は20名だが現在18名で頑張っている。松原の危険箇所には指導員をふやせないか。

**A** 検討してみたい。

**Q** 安全であるべき学校で大阪など事件がおこっているが危機管理マニュアルの作成、定期的な訓練がされているか。

**A** 作成されている。教師が行橋市と刈田町合同で警察から防犯訓練を受け各学校に戻って実施する計画になっている。

**Q** 監視カメラの設置、学校

### 30人規模学級の実現を

**Q** 町政報告で、きめ細かい教育推進を図るとあるが新一年生は南原小、与原小が36、37名の学級編成になっている。子ども達は慣れるだけでも大変なのに、字は覚えなくてはいけない、希望に燃えて入学したのに不登校になる可能性もあり、学級が一番の基本になる。11月に30人学級の特別区を申請していつ実現するのか。

**A** 来年度に間に合う

### 災害に強い 町づくりを

**Q** 福岡西部沖地震を教訓にして町田町でも災害対策は作成していると思う。先日の火災で連絡体制の不備などところがあるのではないか。

**A** 消防署から、宿直と水道局健康福祉課、総務課に直接連絡をするように6月から変更した。

**Q** 火災などでその夜に寝る場所がない人への対応は。

**A** 1泊は役場でも対応できる。

**Q** 大規模な台風、地震に對しての避難場所や住宅の確保は。

**A** 全般的な見直しをしている。民間施設の活用も十分検討してみたい。

### 実のある 男女共同参画を

**Q** 現在政策等の立案及び決定への共同参画が17.3%だがどう引き上げるのか。

**A** まちづくり条例にもりこむ。



川上公美子議員



開通間近な臨海工業線(松原)



井上修議員

**Q** J R小波瀬駅と、周辺整備事業を行う中で、離すことができない刈田貨物駅の対応は。

**A** 区西整備事業の換地処分、地権者から、いろんな形で役場の方に陳情がきている。J R貨物は廃止を考えていない。この問題を解決しなければ、小波瀬の区画整理は終わらないと思う。今後もJ R貨物と協議していく。

**Q** 小波瀬地域は学園都市、住宅地域である。北九州近辺等の通勤、通学利用者も多いが今、利便性が悪いという悪評がある。やはり行政の力が要だ。町長の決断は。

**A** これから発展していく刈田町にとっては、非常に寂しい限りだ。また危険な状態にもあるJ R小波瀬西工大前駅の移転は、優先的に、J R刈田駅の工事が終わる前に考えている。

### 断水のない町づくりについて

**Q** 6月5日の新聞で報道された県の財産である山口ダムの譲渡問題は。

**A** 県が抱えている、農業用ダムである山口ダムを、刈田町に譲渡してはどうかと提議された。現在、県と町で協議している。

**Q** 企業との水問題、下水道整備に伴う人口対策、今後の施策、計画は。

**A** 水源対策プロジェクトチームの中で、北九州市からの緊急時の給水を受ける。二先山あたりに、ため池を設ける。山口ダムの譲渡問題、この3つを着実に、ほぼ最終策という形で実行してみたい。

### 教育を中心とした地域おこしについて

**Q** 刈田町の教育答申の中に、30人学級、単学級の解消、平成16年度の教育改革の答申の中で、単学級に満たない児童数が足りない懸念があるが。

**A** 片島小学校も学年10名前後、白川小学校もだんだん減っている。単学級の解消、いつ複式になるか危惧している。急いで早目に改革を実現したい。

**Q** 白川方面と片島地域は、調整区域であるが、住宅政策を実施しながら、白川校区と片島校区の将来を見つめて、ぜひ併設スクールゾーンに。

**A** 現在小規模である両小学校が協力して新しい学校をつくらないかと言う提案だと受けとめる。教育を中心とした地域の活性化、地域おこしと考え地元の人とも十分協議していく。

**Q** 将来の展望を見つめて、白川片島が交流することで、元気に新たな、夢や目標を持った子供が育ち、少子化の中で次の世代の子供を養ってほしいと願うが町長の考えは。

**A** 住み良い町づくりの中で、教育と言うのは非常に重要である。早急に白川、片島小学校問題、メリット・デメリットあるけれど大局的見地に立った判断をしたい。

## J R小波瀬西工大前駅の橋上化と周辺都市整備事業の見直しについて



J R小波瀬西工大前駅

## 刈田町がさらなる飛躍をするためにどんな政策が必要なのか

### 将来に見合った事業を行うべきだ

**Q** 将来人口5万人を目指すための住宅対策は。

**A** 具体的な政策はない。

**Q** 少ない投資で住宅地の開発を誘導する政策を展開すべきだ。例えば基準をつくり町内の土地を購入・開発した住宅メーカーに助成金をつけたり、町外より町内に移転した際に固定資産税の免除・軽減等の優遇措置を行なうことにより促進するよな政策を考えたかどうか。

**A** 検討してみた。

### 人口増加対策・住宅政策は

### 刈田駅前開発・井場川地区の整備事業は

**Q** 駅前開発に総事業費46億そのうち約19億の町費を投じて開発を行なうがその目的と効果は。

**A** 空港の玄関口の町としての整備が必要だ。

**Q** 今回の開発・整備事業は必要最小限の投資に抑え小波瀬駅の移転とか総合多目的グラウンドの建設等もつと町民の要望の多い事業に使うべきだ。

**A** それはそれで手がけていく。

**Q** 空港の玄関口としての刈田駅の利用見込みは。

**A** 具体的な数値はとらえていない。

**Q** シャトルバス・シャトルライナーについてはどう計画されているのか。

**A** バスについては協議中であり、ライナーについては今後J Rに対して要望していく。



三原茂議員

**Q** 井場川地区の整備事業の総事業費12億円のうち4・7億円の町費を投じて行なうがその目的と効果は。

**A** 多くの人が集まって楽しめる場所にした。

**Q** 道の駅部分をどのような魅力のある施設にし町長はどのような物を造ろうとしているのか。

**A** 情報発信館と道の駅的な施設にしていきたい。

**Q** これは私の夢だが4つのゾーンに分け第1に道の駅的なものを集約したゾーン。第2に刈田町は歴史と文化の町であり今は自動車産業の町なので等覚寺の松会・神幸祭の山、日産・トヨタの名車等を展示するゾーン。第3にミニシアターとか体を癒せる岩盤浴等のあるレクリエーションゾーン。第4に若者が興味のあるイベントを行なったり、町でできた特産物をつくるミ



刈田町の「シャトル」



龍ヶ崎市の「コミュニティバス」

### コミュニティバスについて

**Q** コミュニティバスは町民に対する十分な説明・PRがなされないなか7月に実施運行が行われるが本当にできるのか。

**A** できると思っている。

**Q** 龍ヶ崎市に研修に行った際コミュニティバス事業をする上で何が一番大切か。それはどれだけインパクトを与えられる車両を選べるかである。



松蔭日出美議員

# Q 築城養護学校に高等部を 苅田町がリーダーシップを とって何とか実現を

## A 県に対して要望していきたい



Q 今、築城までバスで送迎をしているが、来年の4月ごろまでにもう少し大きな余裕のあるバスを買っていただきたい。来年3、4人増えるので今のバスでは乗れない。このバスを現在高等部に行くのに直方まで子供達は各自で通学しているがこのバスを回してはどうか。

Q 八田山、稲光、葛川線、3・5K中、1Kできて2・5Kが残っている。ぜひこれをつないでほしい、その前に50、60mつくれば福祉の道として「おひさまの家」に行けるかがかか。

Q 稲光上区にある町営住宅については、臨機応変に柔軟に対応していく。

Q 調べてないが10人くらいの家族があると聞いている。



林繁実議員

# Q 「地産地消」から 派生する問題解決の道を A 真剣に検討したい

Q 「地産地消」とは自分達が住んでいる地域で採れた産物を地元で消費しようということであり、町域の休耕田あるいは、遊休地を活用して野菜を有機栽培する。作り手は長年農業に携わってきたお年寄りをお願いして、経験と知恵を発揮してもらい、それをどこに売るか。まず学校給食の食材に活用する。今「食育」が盛んに論じられており、冷凍食品やファーストフードで育った子供達への影響がいろいろな社会問題につながっていることをようやく気づいたと私は思う。子供達には自分が食べている野菜は、近所のお年寄りが作ったものだということを通して先生方の指導と現地見学等を通じて理解してもらおう。この地産地消を推進することにより食育だけではなく、その担い手となるお年寄りの働く目標ができ、これは老人福祉の問題にも関わってくる。

Q 地産地消はすばらしいことであり今後は是非町としても進めたい。推進する過程で派生してくるいろいろな問題を町づくりという観点から、町づくりに貢献させようという提案で地産の部分、地消の部分、子どもの安全な食育問題として2つ結びつけての提案だが地産地消を積極的に進めると同時に、高齢者を活用して地元の食べ物



Q 総合的な観光ビジョンの一つと考えている。苅田の財

産であり検討して行きたい。住宅問題について、今稲光上区の住宅が3つ壊されている。住宅の欲しい町民は10人位いる。崩そうとしている住宅に少し手を入れれば充分住める。もったいない事をせずこれを整備して住めるようにするか、あるいは壊すなら壊した後に新たに建てるよう、検討すべきと思うが。

Q 実行されることを期待し、その推移を見守りたい。





梶原弘子議員

# Q白川・片島地域を住みやすく A地域コミュニティー 活性化事業を 立ち上げができそう

**Q** 昭和の大合併時の約束が50年目に果され「みやこトンネル」の開通をむかえたが、連絡道路未整備のため山口地区の生活道路は危険、その対策は、住民への説明は丁寧か。

**A** 県土木事務所は19年4月トンネル完成にむけてつながらる県道を1年早く工事にかかると、そのための測量に入った。県道完成までには大型車通行規制、通学時間帯規制、一方通行、離合場所設置等々考えている。協力要請の看板も設置する。県土木事務所の住民説明会も開きたい。

**Q** 浄土院地区には子どもが遊ぶ公園がない。

**A** 片島小の校庭を開放する。

## 教育問題 について

**Q** 白川地域に小中一貫、中高一貫校と言うが、学校体制をいじる前に今の学校の状態はどうか、冬の暖房、夏の空調、教師手出しでの教材費負担、義務教育は法律では無償のはず、子ども達の中で格差が生まれてはいないか、これこそ人権問題だ。

**A** 地元と今後協議し方向を決める、学校修理は1人雇用

## 平和問題について

**Q** 戦後60年、二度と戦争は「イヤ」。地域で高齢者と若者などの対話集会を計画できないか、「非核宣言町」の看板が先の台風で倒れたまま、この際宣言を改めて確認し、真に核兵器のない平和で安全な21世紀を希求するため政府に行動を訴えたええないか、早期に宣言塔を再建し、外国語表示も望むが。

**A** 当然町として議決し宣言していることなので国などに機会があれば、十分働きかけたい、高齢者との懇談会も持ちたい、宣言塔は建てなければ

## 生活実態調査 について

**Q** 33年間続けた同和施策、国は締結宣言を出している、県が統計調査条例に基づき行う同和地区実態調査は、調査理由の中に教育や就労、産業

格差解消を言っているが同和施策だけで解決できないとわかってはいるはず、個人情報やプライバシー保護条項にふれないか、県は強制しないと云っているが、調査依頼の返上は、又違法ではないか。

**A** 県の主体事業で町は委託を受けた、一部に立派れがあると見ていてその部分の確認であり統計調査条例に基づいてやるので違法ではない。



山口地区



# 2006年3月16日開港決定!



常廣直行議員

**Q** 中国、上海便が開港された場合のメリットは。

**A** 空港の盛衰にかかわる。利用価値が増す。

**Q** 集客のための京築地域のPRが不足しているがその施策は。

**A** 苅田町がリーダーシップをとって頑張る。

**Q** 苅田北九州空港インターチェンジという名前になった背景は。

**A** 新しい空港がいち早くわかるように北九州市と苅田町、公団で決定した。

**Q** 長くてしゃべりにくいのが利用者のことを考えてないのでは。

**A** 皆さんに分かるよう、利用促進という意味からも考えた。

**Q** トヨタ九州進出について

の優遇措置と税収増の使い道は。

**A** 臨空産業団地進出企業並みに検討する。

**Q** 臨空産業団地をどう作るのか、投資を回収する為の施策は。

**A** 売買益は考えていない。自動車関連産業等を期待している。

**Q** 県全体で工業団地不足になっているが、苅田町では新しい造成は考えているのか。

**A** 今のところ考えていない。県が持っている白石用地と新松工業団地が考えられている。

**Q** 県道25号線の交通量が3倍になる。痛みの激しい所、二先の直角カーブ等再整備が必要では。

**A** 関係機関と協議している。17年度一杯には方向性を出す。

**Q** 今後の企業進出も推奨して工業用水の最大で必要量は。

**A** 1日に1万7千〜8千トン、殿川ダムで111万5千トンで2ヶ月は確保できる。

**Q** ゆとり教育の成果と問題は。

**A** 賛否両論で統一した見解が定まっていない。

**Q** 将来の町づくりに対応できる人材が育たないのでは。

**A** 審議会でも様々な論議がある。

**Q** サタースクールはどのような形が理想だと考えているのか。

**A** 自学自習、居場所づくり等の支援を行う場所とする。

**Q** 歴史教科書問題をどう考えるか。

**A** 国際化教育の基盤だと考

える。

**Q** コミュニティーバスの特徴は。

**A** CO2排出量が少ないCNG天然ガス車。

**Q** CNG車をPRし、町全体で環境意識を高めるべき。黒字転換する為の施策、予測はあるのか。

**A** バス運営協議会を立ち上げて検討する。

**Q** 苅田港周辺は非常に汚い。また、テロ対策等から釣り場がなくなっているが施策はあるのか。

**A** 港湾区域内で難しいが再検討する。

**Q** 苅田港全体をきれいにする為の仕組みづくりが出来るか。

**A** 現状を探って努力する。

## Q開港時点での空港の規模と 苅田町が占める割合は

**A** 全体面積は373ヘクタール  
国が160ヘクタール  
苅田町は約2ヘクタール

# カメラ見て歩き

みんなで力を合せて  
がんばった春期大運動会



## 50周年 芸能フェスティバル



### 空港対策特別委員会

(平成17年4月21日)  
来年3月16日開港に向け、ターミナルや管制塔などの工事が進む空港島の視察。



解体中の菊田小学校体育館

**意見書3件**  
**意見書案**

住民基本台帳の閲覧制度の早期見直しを求める意見書 **可決**

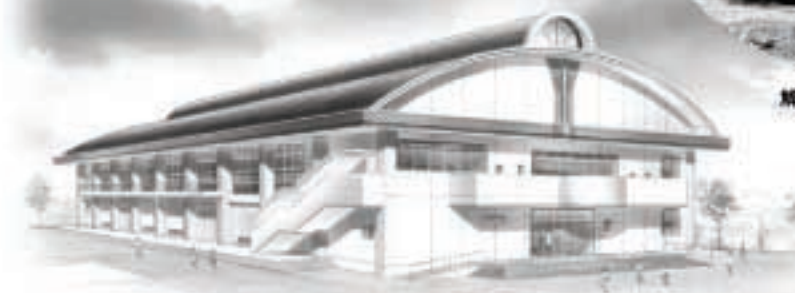
「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書 **否決**

義務教育費国庫負担制度の堅持、30人以下学級の実現を求める意見書 **可決**

菊田町農業委員会委員の推薦  
議会より農業委員に野本正樹氏 **推薦**

### 第2回 菊田町議会臨時会

- 議決案分 4件 (議案)**
- ◆平成16年度菊田町一般会計補正予算(第9号)
  - ◆平成16年度菊田町介護保健特別会計補正予算(第4号)
  - ◆菊田町条例の一部改正
  - ◆損害賠償の額の決定
  - ◆工事請負契約 4件 **可決**
  - ◆城南団地建替工事(建築主休工事)
  - ◆城南団地建替工事(電気設備工事)
  - ◆城南団地建替工事(機械設備工事)
  - ◆菊田町立菊田小学校校屋内運動場改築工事
- 討論の案分 1件 (可決)**
- ◆菊田町臨空産業団地



菊田小学校体育館完成予定図

### 議会を傍聴しませんか

次の定例会は9月です。  
一般質問は9月13日・14日・15日(3日間)の予定。  
開催時間/10時~17時(予定)受付は庁舎6階まで。



6月議会は98人の傍聴者がありました。

問い合わせは議会事務局まで TEL 093-434-1981

# 子ども達の安全を守るために 登下校時に声かけ運動

蒨田地区婦人会会長 角野 祥子

83年間の伝統を持つ蒨田地区婦人会は、社会教育団体として、地域の発展に、女性の地位向上そして社会参画をすすめる、郷土を愛し歴史・文化を大事にして、地域社会の為になる婦人会でありたいと思えます。

歴代の会長さんのきづいて下さった婦人会でございます。私連会員は力を合わせてしっかりと守って行かねばなりません。

7月13日老人ホーム博愛苑の慰問を致しました。職員の方々に気持ちよく迎えて頂き理事長さんがおっしゃるには「婦人会さんは芸人が多いね、本当に楽しかった」とお褒めの言葉を頂き、その後、苑の現状等の説明で会員より沢山の質疑応答があり介護についての質問が大半で、皆さん大変喜ばれました。

毎年一月には白川園とみやこの苑に慰問をさせて頂き、白川園では入園者が一緒に踊って楽しく、みやこの苑では演芸をもっと増やしてとの注文もあり大変喜ばれています。町のお祭り港祭りのパレードにも出場を申し込み、昨年、

今年と賞を頂き九月には一人でも多くの会員さんに呼びかけ身体を鍛える為のアジヤタ大会を予定しています。皆さんのご協力をお願いいたします。

ところで婦人会は今、子供連の登下校時に合わせて声かけ運動をしています。

きっかけは、平成15年の後半でした。不審者、変質者の出没で下校時の子供連が被害、犯罪に合っていると云う事で、婦人会

で子供連の安全を守る為、今何が出来るかと云う話し合いを持ち、声かけ運動に決った訳でございます。今は校区毎に日程をずらして週一回で子供パトロールを続けています。タスキや腕章は、各学校に相談しましたところ早速用意して下さいました。この場を借りてお礼を申し上げます。タスキや腕章を付ける事により責任を感じ、自信を持つ



て声かけが出来ます。

平成15年の犯罪件数は34件、16年は17件そして17年の6月現在で5件だそうです。

変質者、不審者の数は除々に少なくなっているとの事ですが、その数が零に近づく迄関係機関の皆さんや、地域の皆さんと共に無理のないように長続きをしてゆきたいと思えます。

## おとがき

暑中お見舞い申し上げます。酷暑の折柄、皆様方にはご自愛ご発展の程、編集委員一同お祈り申し上げます。

▼6月の梅雨時期を迎えましたが、空梅雨で田、畑、植木等にはむろん上水も危き状態となり湯水対策本部を設置し節水にご協力頂き心から感謝申し上げます。本号が皆様方のお手元に届く頃には湯水が解消されていることを願っています。

▼議会報第84号は、平成17年第3回定例会(6月議会)と平成17年第2回臨時会の審議内容と一般質問を中心に編集しました。

議案の内味は大型事業など真に住みよいまちづくりに向けての施策が実施されようとしています。議会報に対するご意見、ご示さを編集委員一同お願い申し上げます。

光永 信雄

### 議会広報特別委員会

- 委員長 光永 信雄  
副委員長 富安 正直  
委員 梶原 弘子  
井上 文男  
三原 修  
小山 信美

